

# ちばる地域提案事業のご報告



瀬高区の案内図を囲む西平区長（左）と兼濱前区長（右）

## 瀬高区

名護市の東海岸に位置し、先人たちが築いてきた多数の史跡と、大浦湾・久志連山など豊かな自然に囲まれた地域。特に、瀬高区を含む辺野古・大浦湾沿岸域一帯は生き物の種類が豊富で、世界で最も重要な海域である「ホープスポット」に日本で初めて認定された。区外からも、その環境を求めて移住を希望する方も多いとのこと。



西平 伸 区長

事業名	瀬高区案内図・史跡説明板の設置及びこども広場造成事業
事業実施の理由	子ども達を中心に、区の歴史・文化や、地域資源について知り、興味を持つことで、これらに対する保護の意識を高め、区民としての誇りを養いたい。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区内に点在する4つの史跡の説明板の設置</li> <li>○こども広場に区の案内図を設置</li> <li>○区民憩いの場となる東屋の建設、ベンチの設置など</li> </ul>

令和元年9月と令和2年2月に、日本自然保護協会主催で専門家や区外の方も含めた「瀬嵩区のお宝探し」を実施しました。区民が史跡のガイドをしていく中で、<sup>いのがき</sup>猪垣（害獣の侵入を防ぐための垣根）があることを、新たに発見しました。専門家によれば「他にもまだ『お宝』が眠っているのではないか。」という話もあり、このことが事業を提案するきっかけになりました。

案内図は「瀬嵩の史跡巡りと自然」と題し、表面には史跡などの位置が記された区のイラスト地図が描かれ、海の生き物などの写真も載せています。裏面には、区の航空写真と史跡などの写真を説明つきで載せています。この案内図の地図に昔あったものなどを描き入れたところ、高齢者の方たちは当時のことを懐かしみながら非常に喜んでいました。

また、案内図を見ながら休憩できるように、看板の隣に東屋とベンチを設置しました。学校帰りの児童生徒たちが案内図を見ながら東屋で休憩したり遊んだりしている様子も見る事ができます。この他にも、4つの史跡に説明板を設置しました。



瀬嵩区案内図の表面（上）と裏面（下）

この事業をきっかけとして、区民のみならず区外の方々にも瀬嵩区の歴史や文化、地域資源について知ってもらい、それらを大切にする意識が高まるのではないかと期待しています。



東屋（上）とベンチ（下）



二ガミヤ（史跡）の説明板